

小規模企業景気動向調査

[平成30年2月期調査]

～建設業を除き、3業種で停滞が続く小規模企業景況～

2018年3月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年2月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…建設業を除き、3業種で停滞が続く小規模企業景況…◇

2月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)と資金繰りDIがわずかに悪化し、採算DIは若干の改善、売上額DIは不変となり、小幅な動きとなった。建設業は、堅調な需要が下支えていることに加え、除雪作業が入り好調を示したものの、他3業種は天候不順などにより停滞が続いている。経営指導員からは、大雪による物流等の混乱や寒波による客数減などが悪化を招いたとのコメントが目立った。

<製造業> ◇…金属・自動車・工作機械とそれ以外とで二極化が見られる製造業…◇

製造業の業況DIは不変、売上額DI、採算DI、資金繰りDIはわずかに悪化した。金属製品、自動車部品、建設機械や工作機械については、海外・国内ともに需要が安定し、一部では自社対応できない分を外注するなどの対応に追われている。一方で、食料品製造業では、野菜高騰による仕入価格の上昇が採算を悪化させていることや漁獲高の減少による生産量調整によって売上確保ができないとの声があった。また、段ボールやプラスチック容器の資材価格の上昇分を価格転嫁できず厳しい経営環境が続いているとの報告があった。

<建設業> ◇…需要増で売上が改善するも、原材料高により採算確保が十分ではない建設業…◇

建設業の業況DIと資金繰りDIは先月から一転、小幅に改善した。売上額DIは大幅改善、採算DIは小幅改善した。年度末を控え公共工事が売上増に貢献するとともに、住宅やそのリフォーム等の民間需要も堅調な動きを示しているとのコメントがあった。また、大雪による除雪作業が売上に寄与した一方で、慢性的な人手不足であり、除雪作業を優先した結果、施工工事の工程遅れを危ぶむ声もあった。また、建築用鋼材、重機用燃料、住宅用建材の高騰により利幅が減少しているとの声も聞かれた。

<小売業> ◇…季節需要も限定的であり、大雪や寒波により客足が伸びなかった小売業…◇

小売業の業況DIは2ヶ月連続して小幅に悪化した。採算DIは改善したが、売上額DIは小幅悪化、資金繰りDIはわずかに悪化した。経営指導員からは、一部の業種で卒業・入学シーズンにより売上が増加したことや厳冬により防寒具などの冬物商品が好調であったとの声も聞かれた一方で、少子化により新入学生向け商品の売上が年々減少していることや天候不順が続くために春物の売上が低迷していること、地域によっては大雪や寒波により商品仕入れが出来なかったり、消費者の来店数が減少したりして売上減少を招いたとのコメントがあった。

<サービス業> ◇…理美容業を中心に厳しい状況が続くサービス業…◇

サービス業は業況DIは小幅に悪化した。採算DIは不変であったが、売上額DIは小幅悪化、資金繰りDIはわずかに悪化した。クリーニング業は季節の変わり目でもあり、小幅に改善がみられたが、理美容業は固定客の減少や低価格店舗との競争など厳しい環境におかれている。また、旅館業については、外国人観光客や工事関係者を受け入れているところは安定しているが、観光オフシーズンであるので総じて低調とのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 13.6	▲ 13.2	0.4	▲ 8.5	▲ 9.2	▲ 0.7	▲ 4.6	3.0	7.6
採算	▲ 16.8	▲ 16.0	0.8	▲ 14.4	▲ 15.8	▲ 1.4	▲ 10.2	▲ 7.0	3.2
資金繰り	▲ 11.4	▲ 12.1	▲ 0.7	▲ 9.6	▲ 10.5	▲ 0.9	▲ 8.3	▲ 6.5	1.8
業況	▲ 15.8	▲ 16.4	▲ 0.6	▲ 12.7	▲ 13.0	▲ 0.3	▲ 5.7	▲ 2.8	2.9

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 22.0	▲ 24.8	▲ 2.8	▲ 19.3	▲ 21.8	▲ 2.5
採算	▲ 24.5	▲ 23.2	1.3	▲ 18.0	▲ 18.2	▲ 0.2
資金繰り	▲ 16.7	▲ 18.3	▲ 1.6	▲ 11.3	▲ 13.1	▲ 1.8
業況	▲ 25.1	▲ 27.5	▲ 2.4	▲ 19.9	▲ 22.4	▲ 2.5

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(2月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・決算期で個人事業者の決算を行っているが、強みを存分に活かしている所は利益が倍々に増加している。特に、電気工事業や機械メンテナンス業の業況は良い。

(静岡県函南町商工会)

・設備投資の計画案件が増えてきた。金融機関も設備需要に対応するため、貸付が積極的である。

(広島県呉広域商工会)

・降雪が多かった為、除雪作業を行う建設業の売り上げが上昇し、スキーやワカサギ釣りを楽しむお客様も多くなり、宿泊業等の売り上げが上昇している。

(福島県北塩原村商工会)

・2月は観光オフシーズンで例年のようにスポーツ(陸上等)合宿関係もあるが、今年は2月より観光客が多く奄美市中心部ホテルは満室状態である。世界自然遺産登録予定や陸上自衛隊工事関係者並びに学生の卒業旅行もあり、観光業を中心に増加傾向である。

(鹿児島県あまみ商工会)

・消費税増税の駆け込み需要があり建築関係はやや好調、そのほかはやや低調、金融機関の貸し出しは公的制度資金を中心とした推進。

(愛媛県越智商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・例年になく厳しい寒さと天候不順が長く続いた関係上、温泉地周辺の観光関連施設にあっては平年と比べ客足が極端に減少した。市内のスキー場にあっては例年と比較し客足は若干伸びた。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・今年は大雪となり建設業界の稼働は例年になく忙しい現状にあります。一方低温等の影響により野菜が高騰しており、消費マインドは厳しい現状にあります。

(山形県南陽市商工会)

・材料・工具類の高騰。国内産の品薄が急加速。受注は好調なもの、材料待ちで生産をストップする等、景気の大きな動きによる受注減ではなく、その他の要素による製造減が懸念される。原料(生糸)高により、中間業者が圧迫されている。

(京都府京丹後市商工会)

・地域全体としては、先月からの大雪による除雪の仕事で潤っている建設業がある一方で、材料費の高騰による食料品関連の製造小売業が減益傾向にある。全体を見てみると昨年に比べると売上も減少傾向にあるとともに現状維持に努めている事業所が多い。金融の貸出態度は落ち着きをみせている。

(新潟県黒埼商工会)

・地域全般の業種で1月中旬から2月初旬の記録的な大寒波及び大雪のダメージを受けた。交通停止状況からくる被害、従業員の通勤、駐車確保の問題など営業停止、予約顧客のキャンセルなど被害が相次いだ。

(石川県宝達志水町商工会)

・高齢化率の上昇、人口減少の中、経済状況は極めて悪い状況だと思います。

確定申告時期を迎えて、決算相談指導して業績が上向いている企業は数が少ない状況にある。

(山梨県市川三郷町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・金属関係の製造業は依然として好調を維持している。設備投資をした事業所は生産性が上がり受注量を伸ばしている。

(長野県佐久市望月商工会)

・自動車関連、その他コピー複合機等含め、海外、国内共に需要が高く、受注増に伴う売上増加傾向にある。

(山形県上山市商工会)

・堅調、自動車関連はマツダの生産台数対前年比増加などを受け、下請け関係の受注は増加傾向にある。

(広島県呉広域商工会)

・建設機械部品製造業では、一時期親会社の生産抑制で減っていたが最近では増加している。

(香川県高松市中央商工会)

・個人営業の機械・金属関連の製造業で、元請けから大量の注文があり、今後半年間ほどは受注分の生産に追われる状態となっているが、その後の展開がわからない不安を感じている。

(愛媛県西予市商工会)

・金属プレス関連の製造業は受注増により外注に出すほど忙しくなっている

(長野県南箕輪村商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・企業によって収益性は異なり、二極化しているものの、受注の引き合いは増加している。作業員を増やすことができない等、労働力の確保が懸念事項となっている。一部、新規の設備投資に対して前向きな姿勢がみられる。従業員の高齢化や求人難がみられ、将来の生産体制や技術の伝承を危惧している。

(石川県鶴来商工会)

・惣菜関連の製造業は、野菜価格の高騰のため、仕入価格が上がるものの価格に十分に転嫁しきれない状況が続いている。

(秋田県北秋田市商工会)

・先月まで好調だった金属関連も補修関連の製造が頭打ちとなり、製造業全般的に停滞気味である。設備投資なども小口なものを中心で経営環境に大きな変化は見られない。

(千葉県南房総市内房商工会)

食料品製造業では、運賃や段ボール・燃料費、容器等の値上がりと作業従事者の高齢化に伴う後継者不足などの問題で厳しい環境が続いている

(北海道新十津川町商工会)

・北陸地方では大雪が猛威を振るい、モノ・ヒトの動きが悪化し、スーパー・量販店に商品が届かない為に品薄となり、商品が品薄なために来店客が減少する悪循環に陥るなど、全業種に跨り大きな影響を及ぼした。特に製造業においては、交通網が麻痺したことで、納期限内の納品が困難となり、得意先からの評価やコネクションを維持するため、無理に複数の運送業者をパイパスするなど、納期限を守るために運送コストが増大し、採算面が悪化傾向にある。

(富山県射水市商工会)

・「食料品」…天候(積雪)の影響を受け売上はやや減。仕入は年々値上がりし利益を圧迫している。2月～3月は毎年消費が落ちる為、資金繰りはやや苦しい時期。業界は全体的に商品の動きが悪く停滞気味。「機械・金属」…受注量増加傾向である。鋼材仕入価格は同じくらいで採算は好転している。今のところ順調に推移しているがこの先の予測は難しいと感じている。「繊維工業」…原料高が止まらない状況で価格に転嫁できず利益の確保が難しい状況。賃職業は安定して受注している。

(京都府京丹後市商工会)

・水産加工関連の製造業は地元の漁業が不漁のため、材料不足が続いている。魚種によっては県外から取り寄せているものもある。

(和歌山県串本町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・先月同様、鉄骨関係等一部の業種では緩やかに上昇している。

(栃木県小山市美田商工会)

・豪雪により除雪業務で連日稼働している。住宅建築は少しずつ増えてきている。消費税10%を意識しているようである。

(青森県野辺地町商工会)

・配管関連の建設業は、順調に受注が伸びており過去最高益を計上。製造業の好調が、波及してきている状況。

(静岡県新居町商工会)

・雪のための工事の遅れはあったが、除雪作業の受注が例年より多く入った。

(石川県宝達志水町商工会)

・全体的に仕事量は安定している。決算書を見ても概ね良い数字が出ている。

(愛知県豊浜商工会)

・建築関連の建設業は、小規模な受注が増加したため、売上は堅調に推移している。

(鹿児島県日置市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・北陸地方の大雪により除雪作業の仕事が増え忙しい。

人材の高齢化と求人難により職人自体が減少傾向で、現場作業を業とする会社には仕事が集中する売り手市場となっている。受注単価も言い値のケースもある。仕事があるが、人がいないため仕事を断るケースも少なくない。

(石川県鶴来商工会)

・建設材料、運賃コストがやや上昇傾向、採算が悪化

(鹿児島県屋久島町商工会)

・塗装関連の建設業は、前年同期に比べ売上減少し、下請価格も上昇してきている。

(兵庫県太子町商工会)

・公共・民間工事ともに増加傾向にある。但し、市内建設事業所においては社会保険の加入徹底が進んでいるため、利益率の改善にまでは至っていない。

(沖縄県南城市商工会)

・住宅関連の建築業は、輸入資材高騰のため、利幅が減っている

(群馬県中之条町商工会)

・公共工事等の減少に加えて、民間工事の受注量が依然と鈍く地域消費の伸びがみられていない。

(兵庫県川西市商工会)

・瓦工事関連の建設業は、人材不足の為、受注してもお断りしている状況となっている。(求人を出しても応募がない)

(茨城県鉾田市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・厳冬の影響で衣料品小売、家電小売ともに先月に引き続き、今月期も前年同月比で売上が伸びており、好調である。一方、食料品小売業は大きな変化は無く、大型店に押され、依然厳しい業況が続いている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・寒波の影響により防寒具などの季節需要が増加した。

(宮城県東松島市商工会)

・当会一部地区ではスタンプラリー事業(1か月間)を実施しており、そのため参加飲食店において新規顧客の来店や、消費単価アップに伴い微増ではあるが売上増につながっている。

(沖縄県うるま市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・衣料品関連の小売業は、天候不順のため、春物の売り上げが停滞している。

(奈良県平群町商工会)

・食品関連小売業は寒波による来店数の減少により売上が下降している。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・食品及び被服関係は降雪の影響による来店顧客数の減少により、売上は前年比の7～8割程。

3月以降は回復傾向にはある。

(山形県上山市商工会)

・学校関係への販売(衣料系)を行う事業所については少子化による入学生の減少が売上げを直撃している(減少)

(山口県大島商工会)

・輸送の障害により、店頭商品が並ばない日が連日続き売上に影響している。

(富山県富山市北商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・観光関連のサービス業は観光需要の高まりを受け好調。民泊事業への多角化、新規創業相談件数も増えている。

(沖縄県南城市商工会)

・悪天候による交通機関の乱れで、通勤困難者などによる宿泊施設利用の増加が数日あった。閑散期である宿泊業にはうれしい悲鳴ではあったが、灯油などの価格上昇により採算はいまいちである。洗濯業は好調であった。

(富山県富山市北商工会)

・洗濯関連のサービス業は、ぐずついた天気が多かったため売上が微増。

(鳥取県鳥取市西商工会)

・旅館関連のサービス業は、観光シーズンの谷の時期ではあるが、各種工事に従事する人の利用で安定した売り上げ状況になっている。

(愛媛県西予市商工会)

・ペット関連サービス業では売上増、利用客も増加傾向。業況は良くなっているとのこと。

(京都府京北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・全国的な大雪の報道により、旅行需要が少ないこと、観光客が減少する時期であり、大手施設等の休業も多い。よって、回遊性が低下し、サービス業全体が業況が厳しい。

(栃木県那須町商工会)

・飲食業では、新年会など宴会の当日キャンセルが相次ぎ、キャンセル料が取れない、他の顧客の来店がなく食材を使えないということなどで、ヒアリングした店舗では売上の昨年比で4割弱減という大きい被害を受けた。

(石川県宝達志水町商工会)

・理美容業など地域住民に対するサービス業は小売業同様に人口の減少・高齢化により需要の減少傾向が続いており、回復の見込みもなく厳しい状況。

・観光関連の宿泊業は日本人観光客の減少傾向が続く一方、インバウンド客の取り込みに成功している事業者は比較的好調である。

(新潟県妙高高原商工会)

・旅館関連のサービス業は、三朝温泉全体で、年々宿泊者は減少を続けている。その状況下の中で、各宿泊施設が客室稼働率を維持も困難な状況である。稼働率を維持するためには宿泊単価を下げる動きがみられる。洗濯関連のサービス業は、現状では、不変である。現在、燃料費が上昇傾向であるため今後の動きに注視していく必要がある。

・理美容関連のサービス業は、売上高・仕入単価とも前年並みである。新サービスを企画し、売上げを伸ばしている店舗もある。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

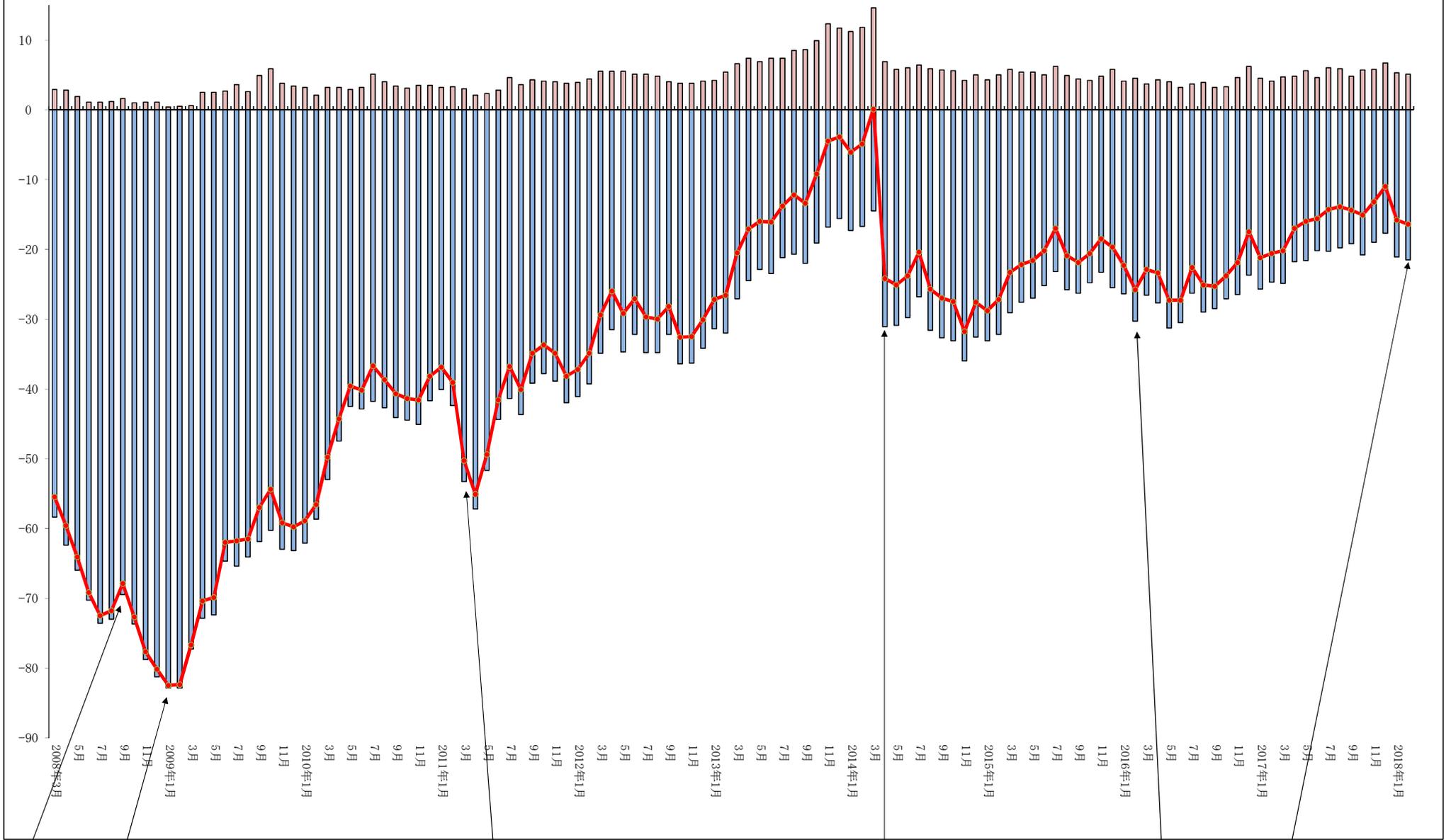
・飲食関連のサービス業は、2月期の天候不順等の影響により、観光客等の客数が減少するとともに、食材の高騰したことにより採算がやや悪化した。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

18年/2月
-16.4